

経 済 日 誌

(11 月 中)

- 1日 ○自販連、10月の国内新車販売台数を発表
国内新車販売台数(含む軽)は、39万7,672台で前年比+10.7%と14か月連続のプラス
- 米連邦準備制度理事会(FRB)、米連邦公開市場委員会(FOMC)を開催(10月31日～)
- (1) 政策金利の誘導目標レンジの据え置き(5.25～5.50%)を決定
- (2) 「時間の経過とともにインフレ率を2%に戻すために適切かもしれない追加の金融引き締め」の程度を決定する際に、金融政策の累積的な引締め度合い、金融政策が経済活動とインフレ率に影響する時間的ラグ、経済と金融の動向を考慮に入れるであろう」とのフォワードガイダンスを維持
- (3) パウエル議長は記者会見で、
・「潜在成長を持続的に越える証拠、又はタイトな労働市場もはや緩和されていないことを示す証拠はインフレが進展するリスクを高め、金融政策の更なる引き締めを正当化する可能性がある」
・「金融市場は、他の要因でもとりわけ長期金利の上昇に牽引され、ここ数ヶ月で大幅に引き締まった。金融市場の持続的な変化は、金融政策の行方に影響を与える可能性があることから、我々は金融情勢を注意深く監視している」
・「今後得られるデータと、そのデータが経済活動やインフレの見通しに関して示唆する内容、リスクバランスを総合して、会合毎に意思決定を行うであろう」と発言
- 米供給管理協会、10月のISM景況指数(製造業)を発表
総合指数は46.7%と前月(49.0%)から低下
- 3日 ○米労働省、10月の雇用統計を発表
非農業部門の雇用者数は前月比15.0万人増、9月分は同29.7万人増に下方修正(△3.9万人)、8月分は同16.5万人増に下方修正(△6.2万人)
失業率は3.9%と前月(3.8%)から上昇
- 7日 ○総務省、9月の家計調査(二人以上の世帯)を発表
実質消費支出は前年同月比△2.8%と7か月連続の減少、季調済前月比は+0.3%と2か月連続の増加
基調判断は「食料・住居・家具家事用品などが減少となった一方、外出の増加などにより外食・交通・自動車等関係費などが増加となった。」
- 厚生労働省、9月の毎月勤労統計(速報)を発表
現金給与総額(共通事業所系列)は前年比+1.9%(うち所定内給与は同+2.2%、所定外給与は同+1.4%、特別給与は同△5.4%)となり31か月連続のプラス
- 米商務省、9月の貿易・サービス収支を発表
貿易・サービス収支(国際収支ベース)は△615億ドルとなり、前月(△587億ドル)から赤字額は増加
- 中国海関総署、10月の貿易収支を発表
貿易収支は+565億ドル、輸出は2,748億ドルで前年比△6.4%、輸入は2,183億ドルで前年比+3.0%
- 8日 ○内閣府、9月の景気動向指数(CI)(速報)を発表
先行指数は108.7(前月差△0.5ポイント)で2か月ぶりの下降、一致指数は114.7(前月差+0.1ポイント)
- 9日 ○財務省、9月の国際収支状況(速報)を発表
経常収支は2兆7,236億円、前年差+19,637億円で2023年2月以降、8か月連続の黒字
- 内閣府、10月の景気ウォッチャー調査を発表
景気の現状判断DIは前月差△0.4ポイントの49.5となり3か月連続の低下、先行き判断DIは前月差△1.1ポイントの48.4となり3か月連続の低下
景気現状の基調判断は「景気は、緩やかな回復基調が続いているものの、一服感がみられる。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている。」と据え置き
- 東京商工リサーチ、10月の全国企業倒産状況を発表
倒産件数は793件(前年比+33.0%)と19か月連続の前年比プラス、負債総額は3,080億1,000万円(同+377.62%)、倒産企業の従業員数は4,675人(同+76.1%)、上場企業倒産は0件
- 10日 ○国土交通省、9月の建設工事受注動態統計を発表
公共工事受注額は前年比△7.4%で3か月ぶりのマイナス
- 日本銀行、10月のマネーストック(速報)を発表
M2は前年比+2.4%、M3は同+1.8%、広義流動性は同+2.0%
- 英政府統計局、2023年7-9月期のGDP(速報)を発表
実質GDP成長率は前期比△0.03%、前期比年率△0.1%
- 13日 ○日本銀行、10月の企業物価指数(速報)を発表
前年同月比+0.8%となり、32か月連続のプラス
- 14日 ○米労働省、10月の消費者物価指数を発表
総合指数は前年比+3.2%、前月(+3.7%)から低下、食品とエネルギーを除いたコア指数は前年比+4.0%、前月(+4.1%)から低下
- 15日 ○内閣府、2023年7-9月期のGDP(1次速報)を発表
実質GDP成長率は、季調済前期比△0.5%(年率換算△2.1%)となり、3四半期ぶりのマイナス成長
名目GDP成長率は、同△0.0%(年率換算△0.2%)
GDPデフレーターは、前年同期比は+5.1%
- 東日本建設業保証会社等、10月の公共工事前払金保証統計を発表
公共工事請負金額は前年同月比+3.6%で2か月連続のプラス
- 米商務省、10月の小売売上高を発表
総合は前月比△0.1%、自動車・同部品を除くと前月比+0.1%
- 16日 ○財務省、10月の貿易統計(速報)を発表
輸出は自動車、船舶等が増加し、前年比+1.6%の9兆1,471億円、輸入は石炭、液化天然ガス、原粗油等が減少し、同△16.3%の9兆8,096億円、貿易収支は△6,625億円で2か月ぶりの赤字
- 内閣府、9月の機械受注統計を発表
民需(除く船舶・電力)は季調済前月比+1.4%
基調判断は「機械受注は、足踏みがみられる」とし

経 済 日 誌 (続)

(11 月 中)

<p>据え置き</p> <p>○米連邦準備制度理事会 (FRB), 10月の鉱工業生産を公表 総合は季調済前月比$\Delta 0.6\%$</p> <p>17日 ○国土交通省, 9月の建設総合統計を公表 公共工事出来高は前年同月比$+4.0\%$で, 13か月連続のプラス</p> <p>22日 ○政府, 11月の月例経済報告を公表 景気の基調判断を「景気は, このところ一部に足踏みもみられるが, 緩やかに回復している。」とし下方修正</p> <p>24日 ○総務省, 10月の消費者物価指数を公表 生鮮除く総合は前年比$+2.9\%$となり, 26か月連続のプラス</p> <p>30日 ○経済産業省, 10月の鉱工業指数(速報)を公表 生産は季調済前期比$+1.0\%$, 出荷は同$+0.2\%$, 在庫は同$+0.8\%$ 基調判断は「生産は一進一退」とし据え置き</p> <p>○経済産業省, 10月の商業動態統計を公表 小売業販売額は前年比$+4.2\%$で20か月連続の増加,</p>	<p>季調済前月比は$\Delta 1.6\%$で2か月連続の減少 基調判断は「上昇傾向にある小売業販売」とし据え置き</p> <p>○国土交通省, 10月の建築着工統計調査を公表 新設住宅着工総戸数(原数値)は, 71,769戸(前年比$\Delta 6.3\%$)と5か月連続の減少, 季調済年率は80.8万戸(前期比$+1.0\%$)</p> <p>○中国国家統計局, 11月の製造業PMI(購買部担当者指数)を公表 製造業PMIは49.4ポイントと前月(49.5)から低下</p> <p>東証株価指数 (TOPIX) 第1部 (終値)</p> <p>月間最高値 2,391.05 (17日) 〃 最安値 2,305.95 (8日)</p> <p>日経平均株価 (終値)</p> <p>月間最高値 32,695.93円 (14日) 〃 最安値 31,601.65円 (1日)</p> <p>東京外為市場 (ドル・円相場, 銀行間直物, 17時時点)</p> <p>月間最高値 147.06円 (30日) 〃 最安値 151.74円 (13日)</p>
--	---